

平成28年度教育事業 「青少年教育施設職員基本研修会」 実施報告

- 1 趣 旨 新任職員や経験の浅い職員等を対象にした研修会を実施し、青少年教育施設職員として必要な基本的な知識・技術を習得するとともに、職員間のネットワークの構築を図る。
- 2 主 催 近畿地区青少年教育施設協議会、国立淡路青少年交流の家、国立曽爾青少年自然の家
- 2 日 時 平成28年5月11日（水）9：00～5月12日（木）11：30
- 3 場 所 和歌山県立紀北青少年の家
- 4 対 象 新任及び経験の浅い青少年教育施設職員等 20名程度
- 5 参加者 25名
- 6 ゲスト 独立行政法人国立青少年教育振興機構 指導主幹 北見靖直氏
- 7 内容等

<5月11日（水）>

【施設の取組紹介・施設見学】 9：00～10：30

紀北青少年の家の職員から施設を紹介していただいた。特徴のある事業や力を入れている取組、施設運営についての工夫を知ることができた。多くの質問が出るなど、施設運営の工夫等について情報交換することができた。



【先輩職員に学ぶ！～教育施設のノウハウを学ぶ～】 10：20～11：40

新任職員や若手職員に仕事での悩みや課題を聞き、各施設の所長が答えるという全員参加型のパネルディスカッションを行った。経験豊富な所長の皆さんから、悩みや課題を解決できるようなアドバイスをいただくことができた。



【青少年教育施設職員の心構えと必要な知識・技能】 13：00～17：00

ゲストの北見靖直氏に青少年教育施設職員の心構えや必要な知識・技能についてお話しいただくとともに、レクリエーションも指導いただいた。施設職員としてのマインドや関わり方、指導のコツや実践等を学ぶことができた。



【1日のふりかえり】 19:00~20:30

1日の研修を、参加者それぞれソロタイムでふりかえった。ふりかえる中で出てきた、「もっと知りたいことや聞きたいこと」は付箋に書き出し、北見氏に答えていただいた。



<5月12日(木)>

【プログラム体験～野外活動「フィールドサーチ」を体験～】 9:00~10:40

紀北青少年の家の「フィールドサーチ」を体験した。「毎年、問題や看板の位置を変えています」と言われるように、プログラムに対する工夫や整備の努力が見え、大変参考になった。



【まとめ】 10:40~11:20

研修会に参加していただいた皆様で、「印象に残ったこと」「これからの目標」を共有した。どの参加者からも「熱いメッセージ」と「意気込み」を聞くことができた。



6 参加者の声

- 北見さんの講演、上司からのアドバイスなど印象的な研修になりました。
- 新たな学び、改めて大事だと感じたことがたくさん詰まった研修でした。
- 今回の研修で学んだことを今日から活かしていきたいです。

7 成果

北見氏の研修により、教育施設職員の基礎基本を学ぶことはもちろん、教育施設職員の在り方・マインドを教わるができる充実した研修会となった。また、同じ職種ということもあり、参加者同士で自然と情報交換や相談をする場面が見受けられ、職員間の貴重なネットワーク作りの機会とすることができた。